

4月定例記者会見要旨

最初の情報は「いきいき茨城ゆめ国体龍ヶ崎市炬火集火式」の情報です。

先ほども申し上げましたが、本県では今年、昭和49年に続いて2度目、45年ぶりに国体が開催され、本市では、国体正式競技として柔道が、ゆめ大会のオープン競技としてスポーツウエルネス吹矢が開催されます。

10月の大会まで約5か月となりましたが、本市では5月15日に今国体のシンボルとなる炬火の集火式を行います。

当日は市内小学校陸上記録会の会場「たつのこフィールド」で、各小学校代表児童が各校でおこした火をトーチに灯し、集火台で一つの火にまとめ、「龍ヶ崎市の火」を作ります。

この「龍ヶ崎市の火」は、9月28日笠松運動公園陸上競技場で行われる総合開会式で、県内他市町村で採火された炬火とともに、炬火台で一つにされ、会期中、選手たちの活躍を見守ることとなります。

なお、この「炬火集火式」はどなたでもご覧いただけますので、ぜひ、多くの市民の皆様にご来場いただき、45年ぶりの茨城国体を市民皆で盛り上げていければと考えております。

続きまして「第25回ダイワハウス全国少年少女野球教室」についての情報です。

このイベントは、日本プロ野球OBクラブが「100万人とキャッチボールを！」を合言葉に、将来を担う子ども達に野球の魅力や楽しさを伝えるとともに、スポーツの普及・振興及び青少年の健全育成を目的として全国47都道府県の各会場で開催されているものです。

期日は5月12日の日曜日、会場は龍ヶ崎市野球場「たつのこスタジアム」で、当日は、元プロ野球・西武ライオンズで活躍した石毛(いしげ)宏(ひろ)典(みち)氏をはじめとする日本プロ野球OBクラブ講師が、小学生及

び中学生の少年・少女約150名に野球の技術指導を行い、最後にチーム対抗のキャッチボールリレー競争を行います。

往年のプロ野球選手が講師として実技指導を行いますので、参加する子どもたちはもちろん、一般の野球ファンの皆さんにもお楽しみいただけると考えております。

なお、「たつのこスタジアム」ではこのほかにも、今年発足しました茨城県民球団・茨城アストロプラネッツ対栃木ゴールデンブレースの試合が4月27日に、流通経済大学が参戦する新東京大学野球春季リーグ戦が5月4日・5日に、さらには、日本プロ野球イースタンリーグ公式戦北海道日本ハムファイターズ対東京読売ジャイアンツの試合が6月23日に予定されており、ビッグイベントが目白押しとなっております。

また、ゴールデンウィーク中は市総合体育館「たつのこアリーナ」でも、ファミリー・フレンドリーイベントデーと銘打って、「親子ボルダリング体験会」や卓球・バドミントンなどを楽しめる「親子フレンドパーク」などを開催するほか、陸上競技場「たつのこフィールド」では、関東大学サッカーリーグ戦で流通経済大学のゲームが2試合予定されております。

いずれも高い話題性や集客力のあるイベントですので、本市の掲げる「スポーツ健幸日本一」に向けたスポーツ振興・交流人口の増加への取り組みを、さらに加速させてくれるものと期待をしているところです。

続きまして、JR常磐線佐貫駅の龍ヶ崎市駅への改称に向けた取り組みの情報提供です。

ご案内の通り、龍ヶ崎市駅への改称につきましては、2020年春を予定しているわけですが、改称まで約1年となりPRを本格化するにあたりまして、このたびアイキャッチを制作しました。

このアイキャッチは、卵型のイラストで、「龍ヶ崎市駅が生まれる」というイメージを表現しています。

割れた殻の断面を線路のイラストで表現するとともに、下方のシルエットで、龍ヶ崎の街並みを表現し、龍ヶ崎市駅の誕生を視覚的にイメージさせるようなアイキャッチとしました。

また、イラストには、ホームで電車を待つまいりゅうくんの姿も入れておりますが、まいりゅうくんのように、新駅名が多く多くの市民に親しまれるよう期待しているところでもあります。

このアイキャッチは、すでに本市職員の名刺に活用しておりますが、今後も、のぼり旗など様々なツールに活用し、事業の周知に努めてまいります。